

祖父江・平和支所の移転は 合併協定違反だ

現支所を改修し、活用を検討するべきだ

6月定例議会の一般質問が11日から3日間の日程で行われ、日本共産党の曾我部博隆、渡辺幸保議員も質問に立ちました。初日の質問に立った曾我部議員の質問を紹介します。

なぜ移転しなければならぬか

曾我部 支所はその地域のまちづくりの核だ。まちづくりの展望（ビジョン）を示さず、支所を移転するのは無責任だ。なぜ祖父江支所、平和支所を移転しなければならぬのか。

篠田智徳企画政策課長 現在の支所はいずれも耐震性がなく、バリアフリー化が不十分で、空調設備等の老朽化も著しい。2015年度の移転を進める。

曾我部議員は、合併時に稲

沢・祖父江。平和で策定した『新市建設計画』、それに基づいてつくった総合計画や都市計画マスタープラン（都市マス）では支所の移転を前提にしていないと、大野市長の暴走を厳しく批判しました。

曾我部 新市建設計画、総合計画、都市マスは一体だ。都市マスは地域別構想策定にあたり「市域形成の歴史的経緯、地域の中心となる施設の存在」を考慮し、策定したとしている。「歴史的経緯、中心となる施設」は、合併前の祖父江・平和庁舎だ。

篠田企画政策課長 新市建設計画は「現市役所・町役場を発展継承する」

とあり、移転できないとはなっていない。

曾我部 保健センターや農村環境改善センターが祖父江、平和の中心となる施設でないことは明らかだ。3つの計画を読めば、現在の支所を移転できないことは明らかだ。

長寿命改修し活用を

曾我部（耐震基準を満たしていないのなら）長寿命改修をなぜ検討しないのか。

篠田企画政策課長 改修には数億円かかると見

込んでいる。曾我部 長寿命化を検討しないのは移転ありきだ。

保健センター・農村環境改善センターで支所機能は無理

祖父江の保健センターは検

診時は1階のロビーは人でいっぱいです。支所が入れば、これまでのようなゆったりした環境で検診できません。また検診時の駐車場はいっぱい（駐車能力59台）。

農村環境改善センターは道路から1・8メートルも高く、施設にはエレベーターがありません。駐車場は15台分しかなく、支所機能を果たすことはできません。



5月に行われた3歳児検診(保健センター祖父江支所の1階)